

家庭用蓄電池の勧誘にご注意！

事例

高齢の父宅はソーラーパネルを設置しているが、「今後、売電価格が下がる。蓄電池を設置すると発電した電気を貯めることができ、設置時に補助金も利用できるのでお得だ。災害時も安心」と訪問があった。300万円を15年ローンで支払う契約だが高すぎないか。
(当事者70代、男性)



「売電価格が下がる」「電気代が安くなる」「補助金が出る」などのセールストークで家庭用蓄電池の設置をすすめる相談が増加しています。

アドバイス

- 事業者の突然の訪問に対しては、事業者名や訪問目的等をしっかり確認しましょう。
- 蓄電池の代金だけでなく工事費や設置後のメンテナンス費用が必要です。電気代の安さだけでなく総合的に判断しましょう。
- 急かされてもその場で契約をせず、複数社から見積りを取り冷静に検討しましょう。
- 補助金、融資などについて、公的な専門窓口にご相談しましょう。(裏面、県の融資・補助制度 参照)



おかしいと思ったら最寄りの消費生活センターにすぐ相談!!



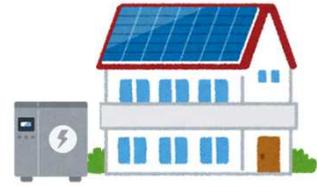
兵庫県立消費生活総合センター

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2

TEL: 078-303-0999 【消費生活相談】

「家庭用蓄電池」の相談データ（兵庫県内消費生活センター受付）

年度別苦情件数(2017.4~2022.9)



家庭用蓄電池のメリット・デメリット

メリット

- ・太陽光発電で作った電気を貯めることができる
- ・災害時（停電時）に役立つ
- ・電気代が削減できる
- ・電気自動車（EV）と連携できる など

デメリット

- ・初期設置コストが高い
- ・蓄電池は徐々に劣化していく（耐用年数がある）
- ・設置場所が必要になる
- ・定期的なメンテナンスなど運用コストがかかる など

住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置特別融資制度

対象設備：住宅用太陽光発電設備（10kW未満）、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム、家庭用蓄電池（電気自動車充給電設備（V2H）含む）、家庭用太陽熱利用設備、内窓または複層ガラス、家庭用ヒートポンプ式電気給湯器、家庭用潜熱回収型ガス給湯器、家庭用潜熱回収型石油給湯器、断熱化工事、省エネ化工事

融資金額：1件当たり50万円以上500万円以内（償還期間10年以内）（金利0.8%）

問い合わせ先：兵庫県環境部環境政策課

TEL：078-362-3284 FAX：078-382-1580

URL：<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk24/yuushi2017.html>

家庭における省エネ支援事業補助金制度

対象設備：蓄電システム、V2H充放電設備、太陽光発電システム ※機器購入費のみ補助対象

補助金額：蓄電システム：4万円

V2H充放電設備：10万円

太陽光発電システム：6万円（ただし、蓄電池又はV2Hと同時に設置する場合）

問い合わせ先：（公財）ひょうご環境創造協会再生可能エネルギー相談支援センター

TEL：078-735-7744 FAX：078-735-7222

URL：<http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/r4taiyoukoupanel-battery/>

※令和4年度の申請受け付けは終了しています。

【その他太陽光発電等（家庭用蓄電池を含む）の再生可能エネルギー設備導入をお考えの方はこちらへ】

相談窓口：（公財）ひょうご環境創造協会再生可能エネルギー相談支援センター

TEL：078-735-7744 FAX：078-735-7222

URL：<http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/saisei/>

※補助金等の支援制度を実施している市町もありますので、お住まいの市町にお問い合わせください。

資源エネルギー庁：住宅用太陽光発電設備の買取期間満了に関する情報サイト

住宅用太陽光設備の買取期間満了に関する情報サイト

どうする？ソーラー 🔍

0570-057-333

受付時間 平日 9:00~18:00（土・日・祝日、年末年始は除きます）

